



CHAPTER 5

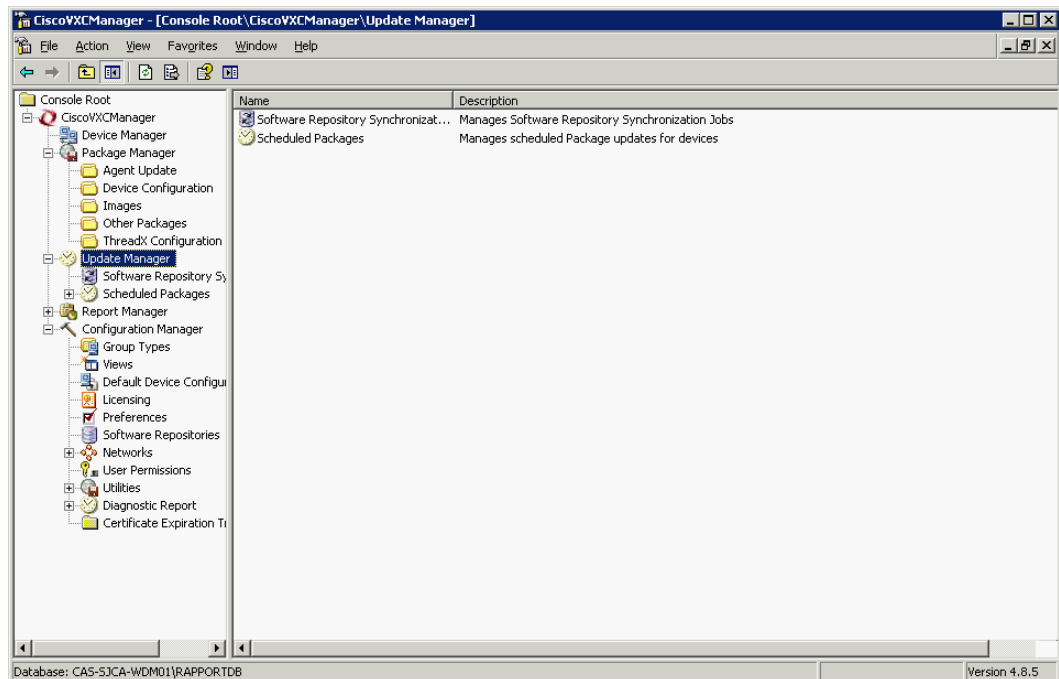
Update Manager

この章では、Administrator Console を使用して、日常的なデバイス アップデート管理タスクを実行する方法について説明します。ここでは、Cisco VXC Manager システムのデバイス アップデートの管理、およびリモート リポジトリとマスター リポジトリ間の同期スケジュールの情報について説明します。

デバイス アップデートのスケジュール管理

Cisco VXC Manager Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] をクリックすると、Update Manager が表示されます。Update Manager を使用すると、Cisco VXC Manager 環境内のデバイス アップデート（デバイスに配信できる状態の、Cisco VXC Manager Database に登録された Cisco VXC Manager パッケージのスケジュール）を素早く表示して管理できます（表 5-1 を参照）。また、リモート リポジトリとマスター リポジトリ間の同期スケジュールを表示して管理することもできます。

図 5-1 Update Manager



Update ウィザードを使用してデバイス アップデートをスケジュールする前に、アップデート配信プロセスおよび登録済み Cisco VXC Manager パッケージの内容を理解し、配信する Cisco VXC Manager パッケージのアイデンティティを把握して、さらに画像または設定を送信する対象のデバイスが Cisco VXC Manager システムで認識されていること（たとえば、そのデバイスが Cisco VXC Manager で検出されること）を確認する必要があります。Cisco VXC Manager Database 内の Cisco VXC Manager パッケージの配信をスケジュールしたら、そのスケジュールおよびプリファレンスに従って、Cisco VXC Manager ネットワーク内のデバイスにパッケージがアップデートとして配信されます。



ヒント

Cisco VXC Manager システムのすべてのデバイスについて、Cisco VXC Manager パッケージの登録とスケジュール設定を同時に実行する場合は、Cisco VXC Manager Mass Imaging Tool を使用すると簡単にこれらのタスクを実行できます（「Cisco VXC Manager の Mass Imaging Tool の使用」(P.D-1) を参照）。

表 5-1 に、Update Manager で実行できる作業の概要を示します。

表 5-1 Update Manager で行う日常的なタスク

実行できるタスク	手順	詳細
Package Distribution ウィザードを使用して、Cisco VXC Manager パッケージがアップデートとして配信されるようにスケジュールする。	Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Scheduled Packages] を右クリックしてから [New] > [Update] を選択して、Package Distribution ウィザードを開いて使用します。	「Package Distribution ウィザードを使用したデバイス アップデートのスケジュール設定」(P.5-4)
ドラッグ アンド ドロップ手法を使用して、登録済み Cisco VXC Manager パッケージがアップデートとして配信されるようにスケジュールする（デバイスおよびビューが多数存在する環境で役立ちます）。	「ドラッグ アンド ドロップ手法を使用したデバイス アップデートのスケジュール設定」(P.5-6) の手順を実行してください。	「ドラッグ アンド ドロップ手法を使用したデバイス アップデートのスケジュール設定」(P.5-6)
自動配信手法を使用して、登録済み Cisco VXC Manager パッケージがアップデートとして配信されるようにスケジュールする（OS およびメディア サイズが同じデバイスのグループに、指定した設定を自動的に適用する場合に役立ちます）。	「自動配信手法を使用したデバイス アップデートのスケジュール設定（デフォルト デバイス構成の割り当て）」(P.5-8) の手順を実行してください。	「自動配信手法を使用したデバイス アップデートのスケジュール設定（デフォルト デバイス構成の割り当て）」(P.5-8)
アップデートとして配信される予定の登録済み Cisco VXC Manager パッケージのスケジュールを表示する。	Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Scheduled Packages] をクリックします（スケジュール済みまたは進行中のデバイス アップデートがあれば、詳細ペインに表示されます）。	
以前にスケジュールしたアップデート（アップデートとして配信される予定の Cisco VXC Manager パッケージのスケジュール）を変更する。	Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Scheduled Packages] をクリックします。詳細ペインで以前にスケジュールしたアップデートを右クリックし、[Properties] を選択して [Edit Updates] ダイアログボックスを開いて使用します。	「Cisco VXC Manager パッケージのスケジュール済みデバイス アップデートの変更」(P.5-8)

表 5-1 Update Manager で行う日常的なタスク (続き)

実行できるタスク	手順	詳細
<p>以前にスケジュールしたアップデート (アップデートとして配信される予定の Cisco VXC Manager パッケージのスケジュール) を削除する。</p>	<p>Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Scheduled Packages] を選択します。詳細ペインで以前にスケジュールしたアップデートを右クリックし、[Delete] を選択してから、削除を確定します。</p> <p>ヒント 複数の Cisco VXC Manager パッケージを選択するには、Ctrl キーを押しながらかlickするか、Shift キーを押しながらかlickします。</p>	<p>進行中の Cisco VXC Manager パッケージのデバイス アップデートは削除できません。</p> <p>ヒント 進行中のアップデートが (デバイスの問題などの理由により) 完了できない場合は、そのアップデートをエラー状態に移動 (アップデートを右クリックして [Move to Error] を選択) すると、削除できます。</p>
<p>目的のデバイスを見つけやすくするために、[Scheduled Packages] で使用する Update Manager ビュー (デフォルトまたはユーザが作成したもの) を選択する。</p>	<p>Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Scheduled Packages] を右クリックしてから [Switch View] を選択して、[Select Current Manager View] ダイアログボックスを開いて使用します。</p>	<p>デバイスのグループ タイプ、ネットワークなどに応じてビューを作成し、現在のマネージャ ビューを選択することで、目的のデバイスを簡単に表示できるようになります (「ビューの管理」(P.7-3) を参照)。</p>
<p>Remote Software Repository Synchronization ウィザードを使用して、手動で同期をスケジュールする。</p>	<p>Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Software Repository Synchronization] を右クリックしてから [New] > [Remote SW Repository Synch] を選択して、Remote Software Repository Synchronization ウィザードを開きます。</p>	<p>「同期の手動スケジュール設定 (Remote Software Repository Synchronization を使用)」(P.5-10)</p>
<p>自動同期を設定または変更する。</p>	<p>「自動同期の設定」(P.5-10) の手順を実行してください。</p>	<p>「自動同期の設定」(P.5-10)</p> <p>(注) 自動同期は、インストール中にデフォルトで設定されます。手動同期スケジュールを自動スケジュールに戻す必要が生じた場合、または単純に現在の自動スケジュールの時間設定を変更する必要がある場合は、この手順に従います。</p>
<p>リモート リポジトリ同期のスケジュールを表示する。</p>	<p>Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Software Repository] をクリックします (スケジュール済み、エラー状態、または進行中のリモート リポジトリの同期があれば、詳細ペインに表示されます)。</p>	

表 5-1 Update Manager で行う日常的なタスク (続き)

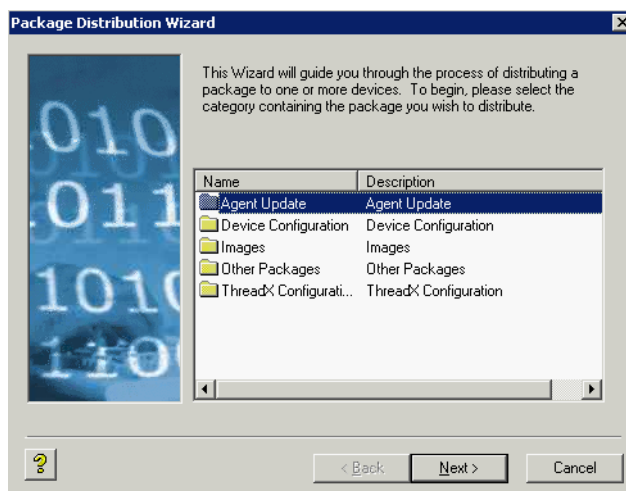
実行できるタスク	手順	詳細
リモート リポジトリ 同期のスケジュールを変更する。	Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Software Repository Synchronization] をクリックします。詳細ペインでスケジュール済み同期を右クリックして [Properties] を選択し、[Synchronize Remote Software Repository] ダイアログボックスを開いて使用します。	「リモート ソフトウェア リポジトリ 同期の変更」(P.5-13)
以前にスケジュールしたリモート リポジトリ同期を削除する。	Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Software Repository Synchronization] をクリックします。詳細ペインで以前にスケジュールした同期を右クリックし、[Delete] を選択してから、削除を確定します。	進行中のリモート リポジトリ同期は削除できません。

Package Distribution ウィザードを使用したデバイス アップデートのスケジュール設定

手順

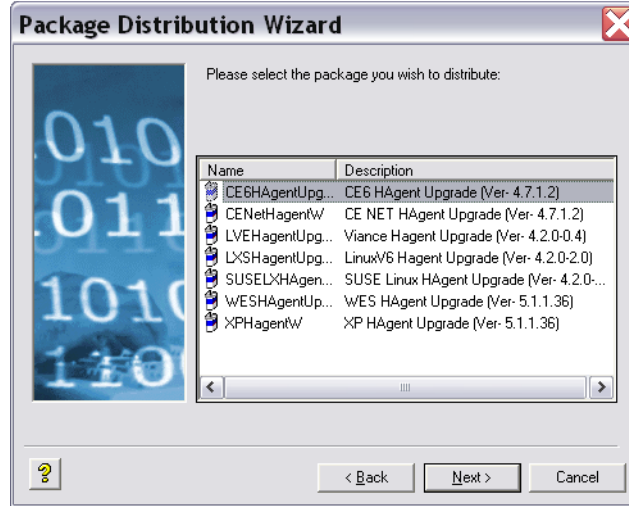
- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Scheduled Packages] を右クリックしてから [Switch] を選択して、[Update Manager View] ダイアログボックスを開きます。ここで、アップデートを受信するグループまたはデバイス グループが含まれるビューを選択します。
- ステップ 2** Administrator Console のツリー ペインで、[Scheduled Packages] を右クリックして [New] > [Update] を選択し、Package Distribution ウィザードを開きます。

図 5-2 Package Distribution ウィザード



- ステップ 3** 配信する登録済み Cisco VXC Manager パッケージが含まれるフォルダを選択して、[Next] をクリックします。

図 5-3 Cisco VXC Manager パッケージの選択



ステップ 4 目的の Cisco VXC Manager パッケージを選択して、[Next] をクリックします。

図 5-4 クライアント グループの選択

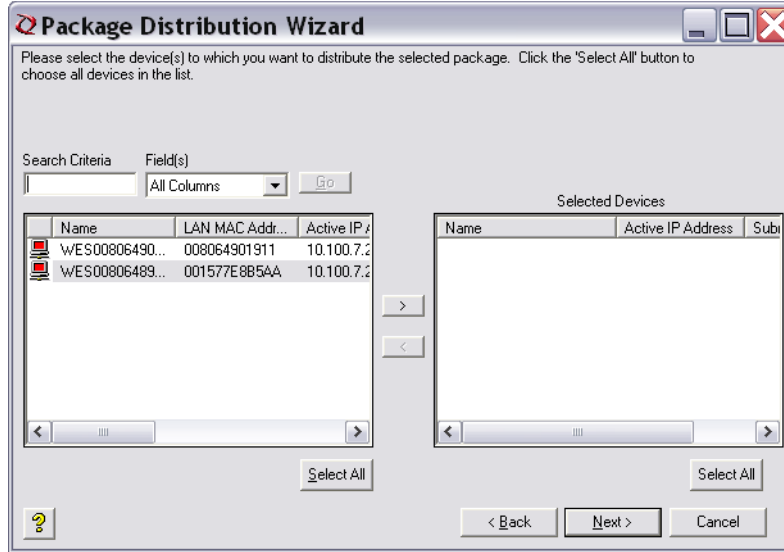


ステップ 5 アップデートを受信するデバイスのグループを選択して（階層内のすべてのグループを選択するには、階層の一番上の [Device Manager] を選択します）、[Next] をクリックします。



ヒント 表示されるデバイス グループは、ステップ 1 で選択した Update Manager ビューに応じて異なります。

図 5-5 クライアントの選択



- ステップ 6** アップデートを受信するデバイスを選択して（Ctrl または Shift を押しながらクリックすると複数のデバイスを選択できます。または、リスト内のすべてのデバイスを選択する場合は [Select All] をクリックします）、[Next] をクリックします。
- ステップ 7** 選択したデバイスに、リモート リポジトリからサービスを提供されているデバイスが含まれているかどうかに応じて（たとえば、アップデートが含まれる Cisco VXC Manager パッケージがリモート リポジトリに含まれている場合）、次のいずれかの手順を実行します。
- 該当するものがない場合は、いつアップデートを実行するかを選択するプロンプトがウィザードに表示されます。アップデートの時刻を選択し、[Next] クリックしてから、ステップ 8 に進みます。
 - 該当するものがあり、リモート リポジトリを同期するようにプリファレンスを設定済みの場合は、同期情報を求めるプロンプトがウィザードに表示されます。情報を入力し、[Next] をクリックしてから、ステップ 8 に進みます。
- ステップ 8** アップデートの作成を求めるプロンプトが表示されたら、[Next] をクリックします。
- ステップ 9** アップデートが作成されたことがウィザードに表示されたら、[Finish] をクリックします。

ドラッグ アンド ドロップ手法を使用したデバイス アップデートのスケジュール設定



注意

このセクションの内容は、PCoIP 向け ThreadX ファームウェアを実行する Cisco VXC 2111/2211 クライアントにのみ適用されます。

ドラッグ アンド ドロップ手法を使用して、登録済み Cisco VXC Manager パッケージがアップデートとして配信されるようにスケジュールできます（デバイスおよびビューが多数存在する環境で役立ちます）。



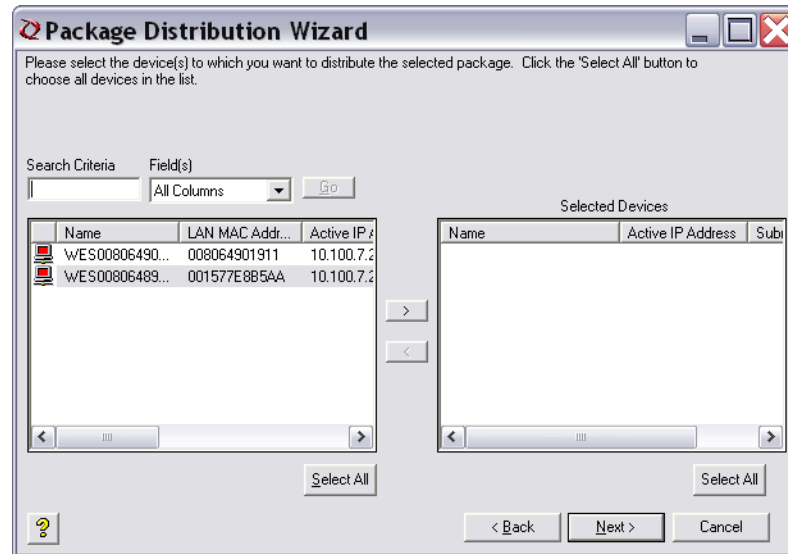
ヒント

「ビューの管理」(P.7-3) の手順を実行することで、目的のビュー (Cisco VXC Manager パッケージを配信する対象のデバイスが含まれるフォルダ) を作成できます。

手順

- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Package Manager] を展開し、配信する Cisco VXC Manager パッケージが含まれるフォルダをクリックして、詳細ペインに表示します。
- ステップ 2** Administrator Console のツリー ペインで [Device Manager] を展開し、Cisco VXC Manager パッケージを配信する対象のデバイス (ビュー) が含まれるフォルダをツリー ペインに表示します。
- ステップ 3** 詳細ペインで配信する Cisco VXC Manager パッケージをクリックし、ツリー ペイン内の Cisco VXC Manager パッケージを配信する対象のデバイスが含まれるフォルダ (ビュー) の上までドラッグして Cisco VXC Manager パッケージをドロップします。

図 5-6 デバイスの選択



- ステップ 4** 表示される Package Distribution ウィザードで、Cisco VXC Manager パッケージを受信するデバイスを選択し、矢印をクリックして選択したデバイスを [Selected Devices] リストに移動してから (Ctrl または Shift を押しながらクリックすると複数のデバイスを選択できます。または、リスト内のすべてのデバイスを選択する場合は [Select All] をクリックします)、[Next] をクリックします。
- ステップ 5** 選択したデバイスに、リモート リポジトリからサービスを提供されているデバイスが含まれているかどうかに応じて (たとえば、アップデートが含まれる Cisco VXC Manager パッケージがリモート リポジトリに含まれている場合)、次のいずれかの手順を実行します。
- 該当するものがない場合は、いつアップデートを実行するかを選択するプロンプトがウィザードに表示されます。アップデートの時刻を選択し、[Next] クリックしてから、ステップ 6 に進みます。
 - 該当するものがあり、リモート リポジトリを同期するようにプリファレンスを設定済みの場合は、同期情報を求めるプロンプトがウィザードに表示されます。情報を入力し、[Next] をクリックしてから、ステップ 6 に進みます。
- ステップ 6** アップデートの作成を求めるプロンプトが表示されたら、[Next] をクリックします。

ステップ 7 アップデートが作成されたことがウィザードに表示されたら、[Finish] をクリックします。

自動配信手法を使用したデバイス アップデートのスケジュール設定（デフォルト デバイス構成の割り当て）

OS およびメディア サイズが同じデバイスのグループには、デフォルト デバイス構成（DDC）を割り当て、デバイスを自動的にアップデートできます。DDC を使用すると、デバイス グループにデフォルト コンフィギュレーションを設定できるようになるため、デバイスが目的の設定に確実に準拠するようになります。つまり、デフォルト コンフィギュレーションと異なるデバイスがあった場合、Cisco VXC Manager により、そのデバイスは指定した設定に自動的に復元されます（Cisco VXC Manager は、設定したスケジュールに従って DDC 内の Cisco VXC Manager パッケージをデバイスに自動的に送信します。ユーザの介入は不要です）。

手順

ステップ 1 DDC を使用するターゲット デバイスを決める：DDC を割り当てるデバイスを特定し、適切なビューを作成してターゲット デバイスを分離します（DDC は、OS およびメディア サイズが同じデバイス グループにしか適用できません）。



ヒント 「ビューの管理」(P.7-3) の手順を実行することで、目的のビュー（Cisco VXC Manager パッケージを配信する対象のデバイスが含まれるフォルダ）を作成できます。

ステップ 2 DDC で使用する Cisco VXC Manager パッケージを決める：DDC に含める（Cisco VXC Manager Database 内の）登録済み Cisco VXC Manager パッケージを特定します。



ヒント DDC を使用することで、Cisco VXC Manager パッケージがデバイスに配信されるシーケンスを決定できるようになります。

ステップ 3 DDC を作成して割り当てる：「デフォルト デバイス コンフィギュレーションの管理」(P.7-6) の手順に従って、目的の DDC を作成して割り当てます。

Cisco VXC Manager パッケージのスケジュール済みデバイス アップデートの変更



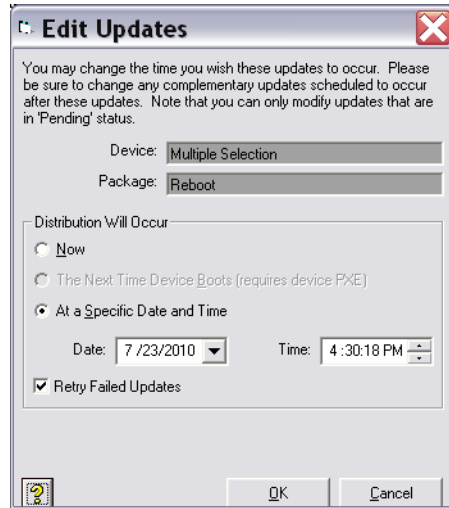
注意

進行中のデバイス アップデートは編集できません。スケジュールされているデバイスの更新を削除する前にデバイスがネットワークから削除されている場合、スケジュールされている更新のステータスが永久に進行中になることがあります。デバイスを削除する前に、そのデバイスに対してスケジュールされているアップデートがないことを確認してください。

手順

- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Scheduled Packages] をクリックします。スケジュール済み、エラー状態、または進行中のデバイス アップデートがあれば、詳細ペインに表示されます。
- ステップ 2** 変更するスケジュール済みデバイス アップデートを右クリックし、[Properties] を選択して [Edit Updates] ダイアログボックスを開きます。

図 5-7 Edit Updates



- ステップ 3** 必要な変更を行います ([Next Time the Device Boots] オプションは、デバイスが PXE をサポートしており、かつ PXE ベースのイメージングを使用している場合に PXE でアップデートが実行されるようにプリファレンスを設定している場合に選択できます (「PXE ベースのイメージング」(P.D-16) を参照)。



ヒント スケジュール済みデバイス アップデートがリモート リポジトリにリンクされている場合は、[Software Repository Synchronization] ウィンドウの詳細ペインでそのアップデートが 2 行にわたって表示される場合があります。最初の行には、リモート リポジトリをマスター リポジトリに同期するためのアップデートが表示されます (必要な場合)。2 番目の行には、リモート リポジトリによってサービスを提供されるデバイスに対する実際のアップデートを表示されます。これらのアップデートのいずれかまたは両方を編集できます。ただし、対応するデバイスに対してアップデートが実行された後は、(リモート リポジトリとマスター リポジトリ間の) 同期アップデートの再スケジュールはできません。

- ステップ 4** 変更が完了したら、[OK] をクリックします。

リモート リポジトリ同期のスケジュール設定

Cisco VXC Manager は、デフォルト (インストール中にチェックボックスを使用することで設定) ではリモート リポジトリのインストール後、自動的にリモート リポジトリをマスター リポジトリに同期しますが、リモート リポジトリの Cisco VXC Manager パッケージは、次の方法で同期できます。

- 自動同期の設定：インストール中に設定されるデフォルトです。自動同期は、クライアント デバイスが、クライアント サブネットに割り当てられているリポジトリに含まれていない Cisco VXC Manager パッケージのアップデートを受信したときに実行されます（「自動同期の設定」(P.5-10) を参照）。
- 同期の手動スケジュール設定：Remote Software Repository Synchronization ウィザードを使用して、必要な特定のスケジュールを設定できます（「同期の手動スケジュール設定 (Remote Software Repository Synchronization を使用)」(P.5-10) を参照）。

自動同期の設定

自動同期は、インストール中にデフォルトで設定されます。手動同期スケジュールを自動スケジュールに戻す必要が生じた場合、または単純に現在の自動スケジュールの時間設定を変更する必要がある場合は、次のガイドラインに従います。

手順

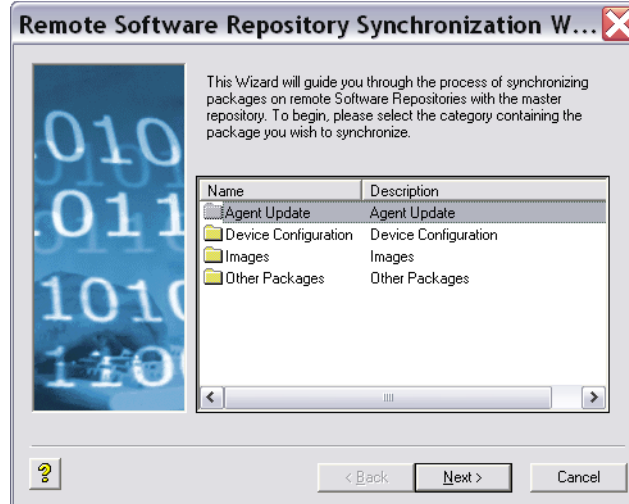
-
- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Configuration Manager] を展開し、[Preferences] をクリックします。
 - ステップ 2** 詳細ペインで、[Scheduling Preferences] をダブルクリックして [Preferences] ダイアログボックスを開きます。
 - ステップ 3** [Preferences] ダイアログボックスの左ペインで、[Scheduling] をクリックして [Scheduling Preferences] ダイアログボックスを開きます。
 - ステップ 4** 必要な [General Scheduling Preferences] を入力します（「Scheduling Preferences」(P.7-23) を参照）。
 - ステップ 5** [Auto-synch Remote Software Repository] チェックボックスを選択して、目的の [Max. Retry Count] を選択します（通常、5 が推奨されます）。
 - ステップ 6** 目的の [Imaging Option] を選択します（「Scheduling Preferences」(P.7-23) を参照）。
 - ステップ 7** [OK] をクリックします。
-

同期の手動スケジュール設定（Remote Software Repository Synchronization を使用）

手順

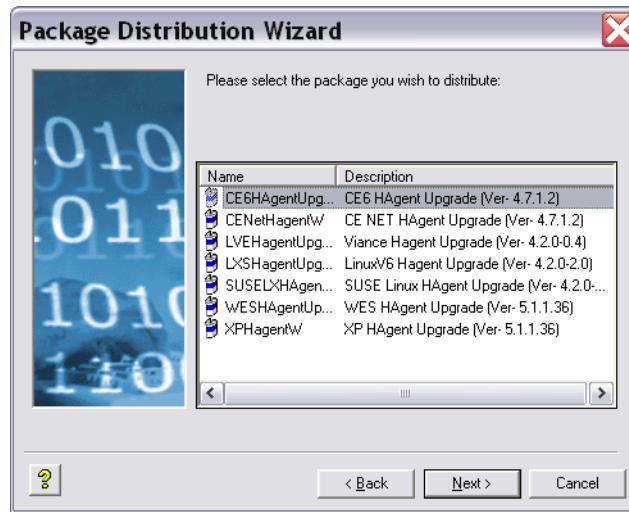
-
- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Software Repository Synchronization] を右クリックしてから [New] > [Remote SW Repository Synch] を選択して、Remote Software Repository Synchronization ウィザードを開きます。

図 5-8 Remote Software Repository Synchronization ウィザード



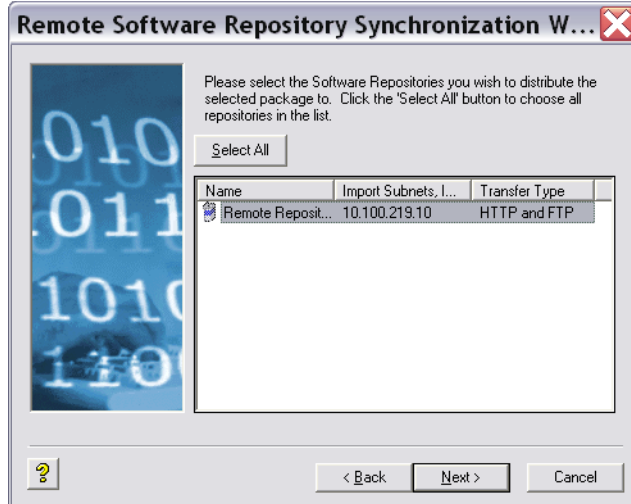
ステップ 2 同期する Cisco VXC Manager パッケージが含まれるカテゴリを選択してから、[Next] をクリックします。

図 5-9 Cisco VXC Manager パッケージの選択



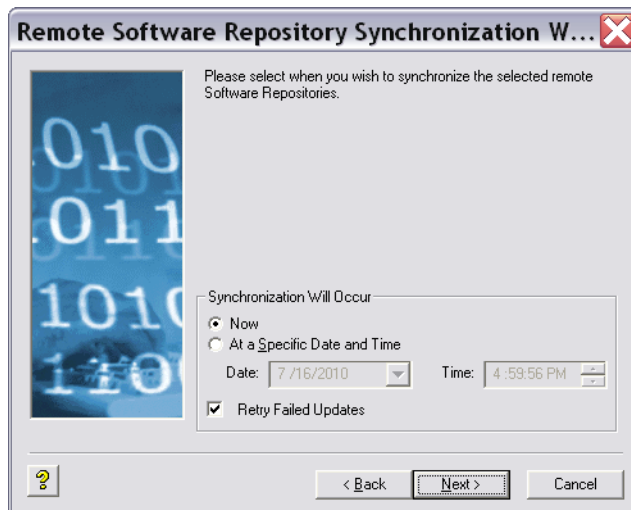
ステップ 3 同期する Cisco VXC Manager パッケージを選択してから、[Next] をクリックします。

図 5-10 ソフトウェア リポジトリの選択



ステップ 4 Cisco VXC Manager パッケージを配信する対象のリポジトリを選択してから、[Next] をクリックします。

図 5-11 スケジュールリング オプションの選択



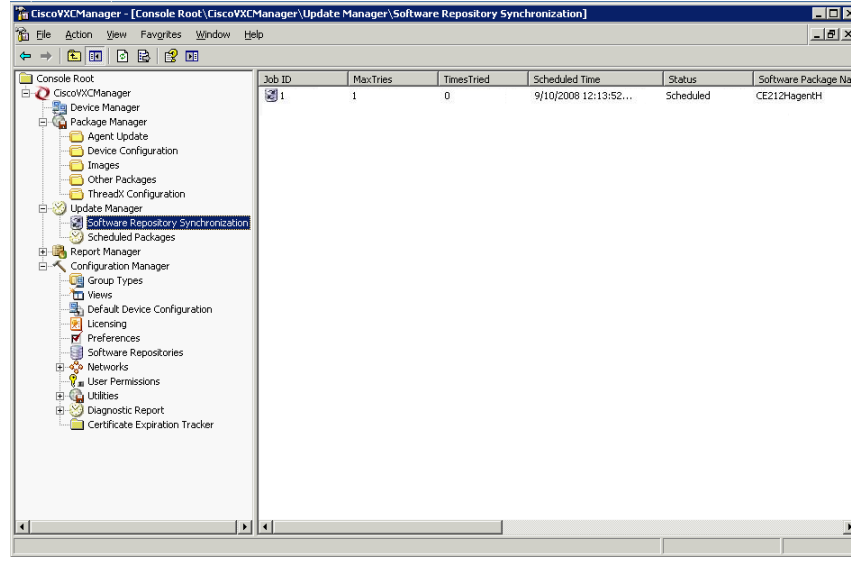
ステップ 5 同期のスケジュールリング オプションを選択してから、[Next] をクリックします。

ステップ 6 スケジュールの作成を求めるプロンプトが表示されたら、[Next] をクリックします。

ステップ 7 スケジュールが作成されたことがウィザードに表示されたら、[Finish] をクリックします。

ステップ 8 リポジトリの同期がスケジュールされていることを確認するには、[CiscoVXCManager] > [Update Manager] > [Repository Synchronization] にナビゲートして、詳細ペインに同期の詳細を表示します。

図 5-12 リポジトリの同期

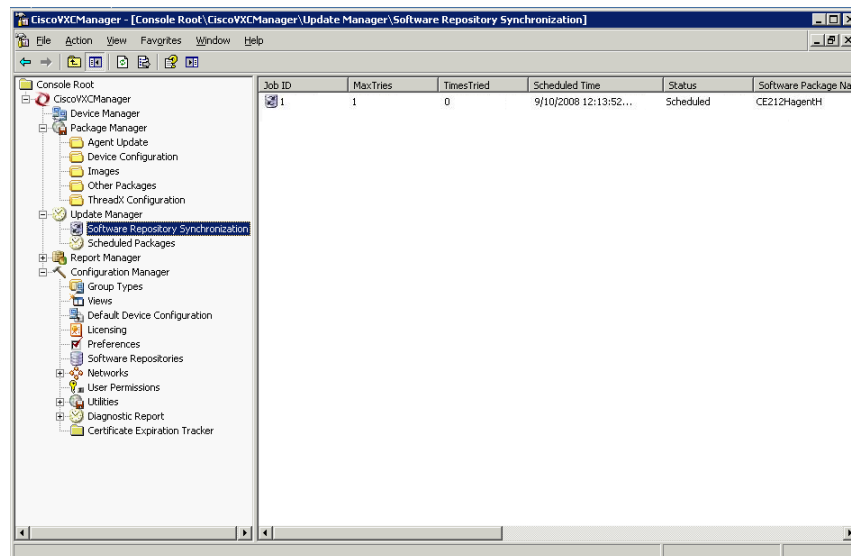


リモート ソフトウェア リポジトリ同期の変更

手順

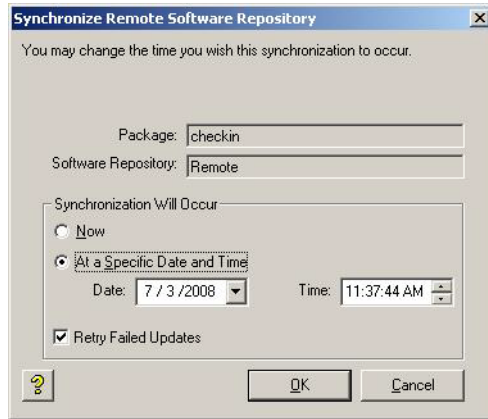
- ステップ 1** Administrator Console のツリー ペインで [Update Manager] を展開し、[Software Repository Synchronization] をクリックします。
- ステップ 2** スケジュール済み、エラー状態、または進行中のリポジトリ同期があれば、詳細ペインに表示されます。

図 5-13 ソフトウェア リポジトリ同期



- ステップ 3** 変更するスケジュール済みリポジトリ同期を右クリックし、[Properties] を選択して、[Edit Synchronize Remote Software Repository] ダイアログボックスを開きます。

図 5-14 Edit Synchronize Remote Software Repository



- ステップ 4** 必要な変更を行います。
- ステップ 5** 変更が完了したら、[OK] をクリックします。
-